

おおふなと 社協だより

 ふれあいネットワーク



2019年7月号



今月の表紙

にいぬま たかし みゆき
新沼 聖さん・美幸さん
ゆうあ こうし いとし
結愛ちゃん・煌士くん・愛士くん
(5歳) (2歳) (0歳)

【特集】平成30年度事業報告・収支決算状況…	2～3
日頃市町宿地域フードバンク支援隊……………	4
大船渡市福祉標語コンクール……………	4
総合福祉センター改修工事のご案内……………	5
役員改選による新体制が決定……………	5
お知らせ……………	6～7
輝き人……………	8



平成30年度 事業報告・ 収支決算状況

社会福祉協議会のあり方

大船渡市社会福祉協議会では、様々な生活課題を抱える地域住民を早期に発見し、必要な支援に結び付ける活動を行ってきました。また、そのような状況にある人を他人ごととせず、住民相互、地域全体で支え合いながら、自ら解決できる仕組みづくりを構築するための活動にも取り組んできました。

その実現に向け、①支えあいまちづくりの推進、②鈴木京子さんまごころ事業の実施、③生活困窮者自立支援事業・生活困窮者等就労準備支援事業の推進、④子育て支援・出会い支援事業の推進、⑤第二次地域福祉活動計画の策定の5つの重点取組を掲げ実施しました。そのほか、見守り活動や相談対応を引き続き実施したほか、支援が必要な住民の金銭管理や生活再建、ボランティアの育成、福祉教育の推進、介護サービスの提供、生きがい健康づくりの推進など、多岐にわたって事業を展開しました。

① 支えあいまちづくり事業 ～住民活動を発展させるために～

各地区助け合い協議会や市内のサロン活動団体からの要請に応じ、連携・協働により事業を推進してきま

した。特に、「住民支え合いマップ」においては、市内10か所、延べ25回にわたり作成支援を行い、地域課題の掘り起こしや解決の方法について、参加住民が考える機会としました。また、社会福祉協議会主体のサロン24か所を住民主体に移行するべく支援を行いました。

② 鈴木京子さん まごころ事業の実施 ～福祉活動福祉人材の定着のために～

地区版助け合い協議会へ助成金を交付し、円滑な運営を支援しました。また、市内福祉施設で働きながら、介護福祉士資格などを取得した25人に支援金の交付を行い、福祉人材の育成、定着を図りました。

そのほか、高齢者世帯や障がい者世帯など14世帯に対し、窓拭き等の個別の生活支援も行いました。

③ 生活困窮者自立支援事業・ 生活困窮者等就労準備支援 事業の推進 ～困窮、社会的孤立を 社会全体で乗り越えるために～

困窮、社会的孤立をしている人や家庭に対し、24時間体制で相談に応じ、関係機関と連携を図りながら生活再建を支援しました。

また、各種プログラム、就労体験などを通じ、生活リズムの改善、生活意欲の向上を図るとともに、就労による経済的、精神的な自立への取り組みを進めました。

④ 子育て支援・ 出会い支援事業の推進 ～結婚から子育てまで包括的に～

子育て中の家族が交流、相談できる場を提供することを通じて、子育てにおける孤立感の緩和や子育てに関する相談、援助、情報提供を行いました。また、子育て負担の軽減のため、子どもを預かって欲しい会員と預かり可能な会員とのマッチングを行いました。

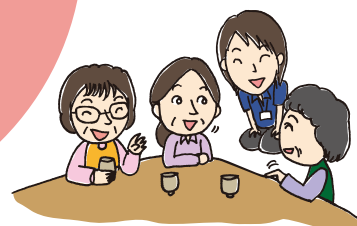
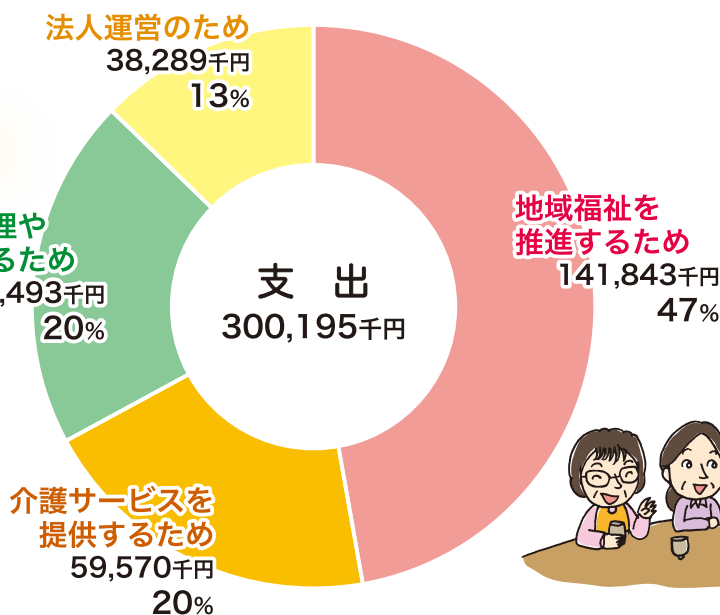
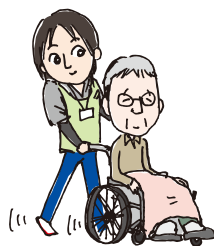
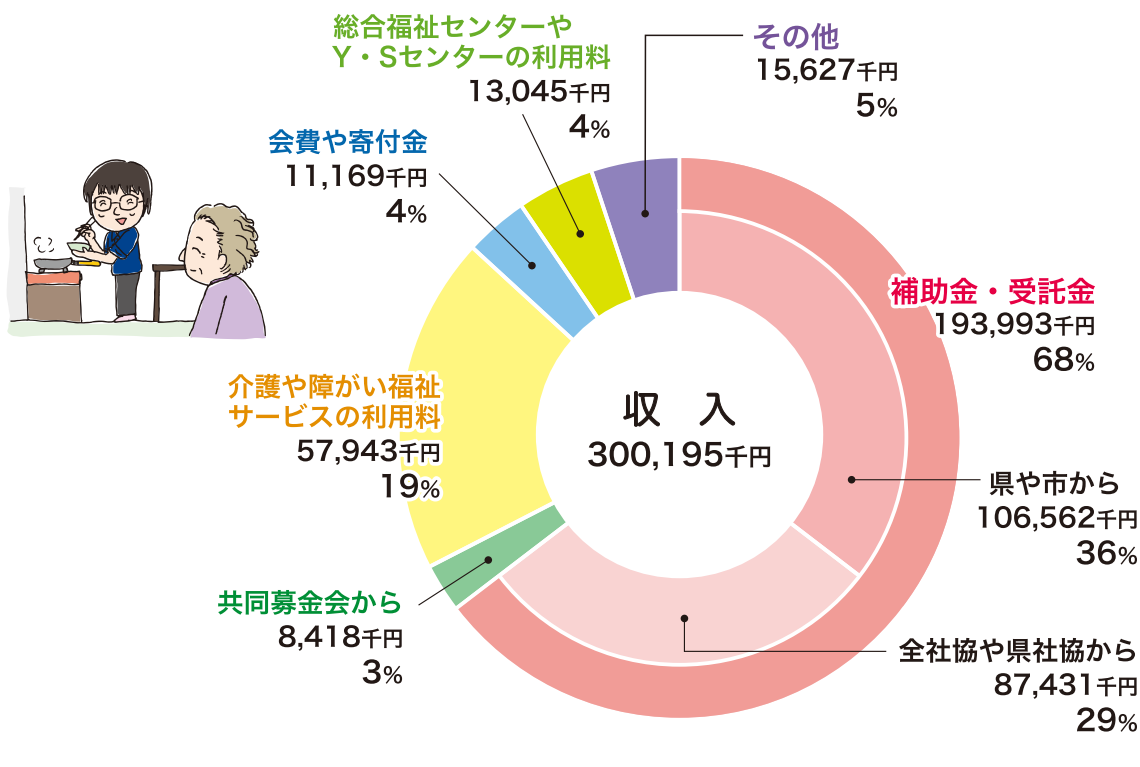
さらに、人口減少や少子化進行抑制のため、独身男女の出会いの場を提供し、4組のカップル成立となりました。

⑤ 第二次地域福祉活動計画 の策定 ～今後の福祉活動のデザインを～

住民主体の福祉のまちづくりを推進するために、今後の福祉活動の方向性や具体的な行動目標を示す大船渡市地域福祉活動計画（5カ年）の策定に取り組みしました。

平成30年度決算のあらまし

(単位：千円)



法人全体収支決算状況

事業活動計算書 (単位:千円)
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

資金収支計算書 (単位:千円)
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

貸借対照表 (単位:千円)
(平成31年3月31日現在)

科目	金額
サービス活動増減の部	286,663
サービス活動増減の部	302,771
サービス活動増減差額①	△ 16,108
サービス活動外増減の部	120
サービス活動外増減の部	0
サービス活動外増減差額②	120
経常増減差額③(①+②)	△ 15,988
特別増減の部	1,151
特別増減の部	0
特別増減差額④	1,151
当期増減差額⑤(③+④)	△ 14,837
繰越活動増減差額の部	149,950
繰越活動増減差額の部	135,113
基金取崩額⑧	9,850
次期繰越活動増減差額⑨(⑦+⑧)	144,963

科目	金額
事業活動による収入	286,930
事業活動による収入	294,685
事業活動資金収支差額①	△ 7,755
施設整備等による収入	0
施設整備等による収入	775
施設整備等資金収支差額②	△ 775
その他の活動による収入	10,248
その他の活動による収入	4,735
その他の活動資金収支差額③	5,513
予備費支出④	0
当期資金収支差額合計⑤(①+②+③+④)	△ 3,017
前期末支払資金残高⑥	117,109
当期末支払資金残高⑦(⑤+⑥)	114,092

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産①	128,811	流動負債	14,720
固定資産②	467,325	固定負債	49,654
(基本財産)	96,032	負債の部合計④	64,374
(その他の固定資産)	371,293	純資産の部	
		基本金	10,100
		基金	217,506
		国庫補助金等特別積立金	64,166
		その他の積立金	95,027
		次期繰越活動増減差額	144,963
		純資産の部合計⑤	531,762
資産の部合計③(①+②)	596,136	負債及び純資産の部合計⑥(④+⑤)	596,136

困った人を支える力に 日頃市町宿地域フードバンク支援隊



寄付されたお米で相談者の生活が守られます

6月3日(月)、日頃市町宿地域フードバンク支援隊(新沼時雄隊長)より生活に困っている人への支援に役立ててほしいと米60kgが寄贈されました。支援隊は、社会福祉協議会が平成27年4月から実施している「生活困窮者自立相談支援事業」のなかで生活に困窮し食べるものを確保できない相談者がいることに憂慮。何か協力できることはないかと日頃市町宿地域の米の生産者6人で結成されました。

新沼隊長と発起人の中村和司さんは、「自分たちの作った米がみなさんに喜んで食べてもらえるのであればとても嬉しいこと。今後も協力していきたいし、今回の取り組みをきっかけに、このような取り組みが広がってくれたらと思っています」と話してくれました。

今回寄贈されたお米は、生活困窮者自立相談支援事業の相談者への食糧支援として大事に使わせていただきます。

社会福祉協議会では、ご家庭にある食糧品寄付の受入をしていますので、ご協力をお願いします。

○食糧品の内容

常温保存可能なもので、賞味期限内のもの。要冷蔵・冷凍、生鮮食品は受入不可。

○受入日時

平日午前8時30分〜午後5時15分

【問い合わせ先】

大船渡市社会福祉協議会
019212710001

一人ひとりの「ふだんの暮らしのしあわせ」 大船渡市福祉標語コンクール

児童・生徒が、日常の中で「福祉」について考え、優しさや豊かな心を育むことを目的として、福祉標語コンクールを実施しました。

大船渡市内の小中学校10校から286作品が寄せられ、一人ひとりが感じる「ふだんの暮らしのしあわせ」が自由に表現されています。

入賞作品は次のとおりです。

入賞作品

《小学生の部》

○特選

笑顔の木 心の声で 育ちゆく
(赤崎小学校6年 志田 翔規)

○入選

思いやり みんなをつなぐ
せつちやくざい
(綾里小学校5年 米沢 遊月)
あいきつで
広がる、人の輪、笑顔の和
(大船渡北小学校5年 伊藤 実夢)

○佳作

広げよう

優しい心の かけ橋を
(立根小学校6年 小山 陽渚莉)

いつまでも
みらいにつなげ やさしさを
(日頃市小学校4年 佐々木 侗人)

手をつなぎ
助ける心 忘れずに
(綾里小学校6年 袖野 巧叶)

《中学生の部》

○特選

地域から

笑顔、協力 助け合い
(日頃市中学校3年 新沼 颯一郎)

○入選

優しさで

咲かせる笑顔 福祉の輪
(綾里中学校3年 後藤 陽菜)

○佳作

支えあい

輝く明日への 第一歩
(綾里中学校1年 後藤 麗菜)

自分から

つなげていこう 笑顔の輪
(綾里中学校2年 坂本 晃太郎)

誰もが利用しやすい施設に 総合福祉センター改修工事のご案内



住民の皆さんが使いやすいよう改修が進んでいる総合福祉センター

現在、社会福祉協議会が所有する大船渡市総合福祉センター（以下、総合福祉センター）の改修工事を行っています。総合福祉センターは、昭和58年に建築して以来、地域福祉活動の拠点施設としての役割を担ってきました。年間、2万5千人を超える人に利用される施設ですが、建物の老朽化により雨漏りや水回りの故障などで利用者にご不便をおかけしていま

した。

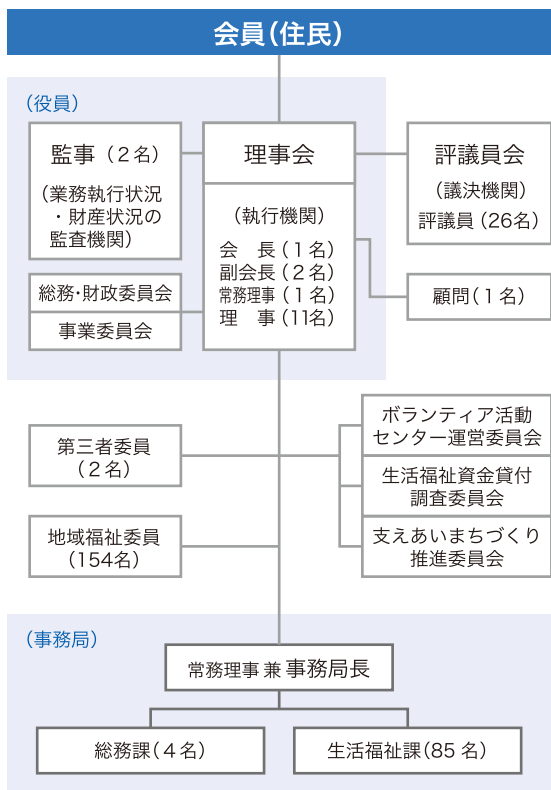
故障箇所については、その都度、応急処置的な修繕を繰り返してきましたが、今回、外壁周りにエンタランス、トイレ周りを大規模に修繕することにした。トイレは、これまでの和式便器を洋式便器に代えるほか、人口肛門や人口膀胱を保有している人が利用しやすいトイレ（オストメイト対応トイレ）も設置します。

また、施設全般の照明器具をLED化するとともに、主要な居室には冷暖房設備を設置するなど、より利用しやすい施設へと改善されます。

これら改修工事にかかる総費用は約1億4千万円で、これまでに皆さんから寄せられた福祉基金を活用させていただきます。

工期は今年12月初旬まで。それまでの期間、利用者の皆さんや周辺にお住まいの皆さんには、ご不便をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

大船渡市社会福祉協議会組織図



この度、任期満了に伴う役員改選が行われ、6月24日に開催した理事会において新体制が決定しました。田村福子会長のものと、役員が一丸となつて、大船渡で暮らす皆さんが安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。

*任期 令和3年6月の定時評議員会終結時まで

会長 田村福子、副会長 新沼眞作、今野隆子、常務理事 金野敏夫、理事 山下タエ子、田村敏夫、佐々木憲江、田代研三、熊谷孝嘉、及川芳子(新)、古内嘉典(新)、小松英子(新)、千田富士夫(新)、今野良子(新)、熊澤正彦(新)、監事 上野博幸、及川明子(新)(新)は新任

役職員が一丸となつてまちづくりを 役員改選による新体制が決定

つどいの広場内イベント

下記の日程でイベントを開催します。
お気軽にお越しください。

つどいの広場イベント日程（8月）

開催日	内容	時間
1日(木)	はじめてさんの日	午前10時～午後4時
	計測の日 (成長記録カード作り)	午前10時～正午
8日(木)	ハローワーク 出張おしごと相談会	午前10時30分～正午
	わいわいトーク	正午～午後1時
22日(木)	双子ちゃん家族 わいわいトークの日	午前10時～正午
24日(土)	ともみん健康相談会	午前10時～正午



おでかけひろば

出張「つどいの広場」です。乳幼児の子育てをしている人ならどなたでも利用できます。

日時 毎週火曜日午前10時～午後3時

場所 おおふなぽーと2階和室

※慢性・先天性疾患、低体重出生児、発達障がいなど配慮が必要なお子さんのためのおでかけひろば「ゆるり」は、8月21日(水)（午前10時～正午）に開催します。

*生きがい健康づくり事業

第2期(8～12月)水泳教室

下記の日程で各種水泳教室を開講します。
事前申込みが必要です。

場所 大船渡市Y・Sセンター

受付期間 7月31日(水)まで

受付時間 月曜日を除く平日午前9時30分～午後4時30分

受付方法 申込書と受講料を添えて申込み

(電話での申込みは不可)

受講料 1,000円(プール利用料別)



水泳教室名	曜日・時間	定員	内容
スイスイ水泳教室	8月20日から毎週火曜日 午前10時～午前11時	30人	水泳指導
ラクラク教室	8月21日から毎週水曜日 午前10時～午前10時45分	40人	水中運動
リラックス水泳教室	8月21日から毎週水曜日 午後6時30分～午後7時30分	30人	水泳指導
チャレンジ水泳教室	8月22日から毎週木曜日 午前9時30分～午前10時30分	40人	水泳指導
初心者向け水泳教室	8月22日から毎週木曜日 午前10時30分～午前11時30分	20人	水泳指導
イキイキ教室	8月23日から毎週金曜日 午前10時～午前10時45分	40人	水中運動
児童水泳教室	8月24日から毎週土曜日 午前9時30分～午前10時30分 午前10時30分～午前11時30分	40人 25人	水泳指導

「募集」「イベント」
「お知らせ」など
暮らしに役立つ情報をお届けします。

お知らせ
令和元年8月

申込・ 大船渡市社会福祉協議会
問い合わせ先 電話 0192(27)0001 (代表)

*子育て支援事業情報

KOSONOWA ママティーパーティー

色々な種類のハーブティーを飲みながら、子育て中に困ったときのアイデアを出し合いましょう。お子様連れや、パパの参加もお待ちしています。

日時 7月27日(土) 午前10時～正午

場所 おおふなぽーと2階多目的室

参加費 無料

「今」を残す手形アートを作ろう!

お子さんの手形を象に見立てて作品を作ってみましょう。人気のイベントにつき、申込みはお早めをお願いします。

日時 8月29日(木) 午前10時～正午

場所 大船渡市Y・Sセンター

定員 12人

参加費 300円



Y・Sセンター祝日開館実施中

毎週月曜日は休館日となっておりますが、今年度は祝日に限り営業しています（浴室は清掃等のため休業）。なお、例年実施している夏季特別開館は、今年度実施しませんのでご了承ください。

開館時間 午前9時～午後5時

Y・Sセンター、総合福祉センター 敷地内全面禁煙

健康増進法一部改正に伴い、7月1日からY・Sセンター、総合福祉センターの敷地内全面禁煙（駐車場等の自動車内を含む。）とします。ご理解とご協力をお願いします。

福祉車両貸出

夏まつりや旅行など、家族で外出する機会が増えてくる季節になりました。車いすを利用していても、外出できるよう福祉車両を貸出しています。

申込方法 利用日の2ヶ月前から5日前までに申請書を提出

利用料 無料(使用後に燃料を全量補充)
※福祉車両の他、車いす、スロープも貸出しています。

寄付・寄贈の受入（5・6月分）

復興支援金 連合栃木わたらせ地域協議会様、連合愛知豊田地域わたらせ協議会様、匿名2名
福祉基金 古水健吾様、茶道協会様
指定寄付 橋本千賀子様(生活困窮者各種支援)

今月の表紙

新沼 聖さん・美幸さん

結 愛ちゃん(5歳)

煌 士くん(2歳)

愛 士くん(0歳)

(盛町在住)

愛士くんのお世話をしてくれる頼りがいのある結愛ちゃんと、家族のムードメーカー煌士くん。3人仲良くたくましく育ってね。



8月号課題「再会」

締め切り
8月5日(月)必着。
1人1句。
(自信作をひとつ)
はがき使用。

投句先
立根町字下欠125-12
「Y・Sセンター」内
大船渡市
社会福祉協議会
「ふくし川柳」係

その他
作品によっては、
添削する場合があります。
投句者の氏名にはフリガナをつけてください。

*岩手県福祉人材センター情報

介護のしごと相談

キャリア支援員が介護の職場に就職したい方などの相談に応じます。相談を希望する場合は、事前に連絡をお願いします。

介護のしごと相談日程（8月）

開催日	会場	時間
5日(月)	Y・Sセンター	午前9時～午後4時
6日(火)	おおふなぼーと	午前10時～午後3時
8日(木)	ハローワーク	午前10時～正午
19日(月)	Y・Sセンター	午前9時～午後4時
22日(木)	ハローワーク	午前10時～正午
26日(月)	Y・Sセンター	午前9時～午後4時

申込・問い合わせ先

岩手県福祉人材センター 坂本さん

電話 080-8201-0200

*大船渡市Y・Sセンター情報

キッズ水泳教室

水遊びの楽しさと、プールを安全に利用するためのマナーを学びましょう。

日時 8月25日(日)

午前10時～午前11時

場所 大船渡市Y・Sセンター

対象 4歳児(年中)～5歳児(年長)

定員 25人

参加費 無料(プール利用料別途)

申込方法 7月22日(月)～前日までに電話
または直接来所で申込み

「ふくし川柳」

課題「雑詠」 富谷英雄選

夏至が過ぎ寒さに負けて冬支度
祝米寿揃いし笑顔卒寿へと
週一度響き合う歌老い忘れ
高齢で運転免許悩む日々

大・吉田 國子
大・新沼都紀子
立・武田 みつ
日・佐藤アサ子

《佳作》
復興を 墓から覗く 視線あり

越・平田 栄夫

(評)最初、「墓から覗く視線」という言葉に驚いたが、作者の洞察力のすごさに感動。復興は亡き人もきつと見ているに違いない。

輝き人

はた やま なる み
畑 山 成 美さん (24歳)



二戸市出身。大船渡町在住。平成29年より社会福祉法人大洋会児童養護施設大洋学園で児童指導員として勤務。入所児童の成長の一瞬一瞬を、自身の成長とともに見守る。

私の生きる場所は(一)

○子どもと関わりたい一心で

中学、高校時代と不登校気味の同級生と学校生活を過ごしていくなかで、不登校やさまざまな課題を抱えた子どもたちに関わる仕事に就いてみたいと考え、福祉系大学へ進学しました。

大学在学中は、児童相談所での経験やサークルでの少年院訪問、地元社協での実習など様々な経験を通じ、将来、子どもたちと関わる仕事をしたいたい気持ちを確認かなものにしていきました。

○ここしかない

子どもたちと関わる仕事といっても、児童相談所や市役所、保育所など様々な施設があるなかで、自分の進むべき道を探していました。転機は、児童養護施設「大洋学園」での実習。縁もゆかりもない大船渡市で実習をやっていた不安がありました。しかし、

実習が始まると、子どもたちが一般家庭に限りなく近い環境で暮らしていること、チームで職員が子どもたちに関わろうとしていることなど、まさに自分が目指している子どもたちのへの関わりの姿があったのです。私の進むべき道は児童養護施設。そして、「大洋学園で働きたい」と思いが繋がった瞬間でした。

○児童指導員という仕事

児童養護施設では、食事づくり、部屋の掃除、登校の準備、学習指導など子どもたちが起きてから寝るまで、児童と生活をともにします。さらには、学校の授業参観や三者面談にも行くこともあるんです。

入職当初、慣れないなかで時には子どもたちとぶつかったり、反発されたりすることも少なくありませんでした。それでも、子どもたちと全力で向き合い、

○手を尽くしたい

入所している子どもたちは、辛い体験や親との分離体験をしています。そんな子どもたちが前を向いて、自身の力で自立して生きていけるようになることが私の理想です。そのために、「何が出来るか」を子どもたち一人ひとりに合わせて考え、どんなことでも子どもたちのためなら手を尽くしたいと思っています。